

<執筆要領> (2013年4月1日改訂)

「カウンセリング研究」に論文の掲載を希望する場合は、編集規定(別ファイル)とこの執筆要領に則して論文を作成し、投稿論文に必要な事項(2項参照)と原稿(3項参照)を以下の web ページ (<http://www.jacs1967.jp/research/>) を参照の上、次の web ページ (<https://www.editorialmanager.com/counsel/>) から所定の手続きを経て投稿すること。条件を満たしていない場合には、審査できず、返送することがあるので、注意して作成すること。

- 1.論文の区分(原著, 資料, ケース研究, 展望, ケース報告)をタイトルページに明記すること。審査は区分ごとに行われる。区分の目安は以下のとおりである。
  - (1)原著欄にはカウンセリングおよびその隣接領域に関するオリジナルでかつ実証的または理論的な研究論文を掲載する。
  - (2)資料欄にはカウンセリングおよびその隣接領域に関する萌芽的研究や内外諸研究の追試的検討, またカウンセリングの技法, 理論, 制度などに関する新しい提案などを報告する論文を掲載する。
  - (3)ケース研究欄にはカウンセリングの理論・技法などの発展や人間理解の深化に寄与するような独自の工夫を伴った事例研究を掲載する。
  - (4)展望欄にはカウンセリングの最近の重要な課題について, 内外の諸研究を広く検討し, その研究状況, 主要成果, 問題点などを総合的に解説する論文を掲載する。
  - (5)ケース報告欄には, 個人・グループ・機関の問題を解決する上でカウンセリングがどのように活用されたか, その実証性を客観的に記載した報告論文を掲載する。
- 2.web ページ (<https://www.editorialmanager.com/counsel/>) から投稿論文に必要な事項を記載すること。
- 3.原稿は著者を特定できる氏名・所属と謝辞等の記述を削除してワード, エクセルあるいは PDF で作成すること。審査は無記名の原稿によって行われる。
- 4.論文の構成は科学論文の形式に則ること。冒頭の内容目次は省略し, 本文および表・図の重複を極力避け, 簡潔にまとめること。
- 5.原稿は1行24字で30行, 横書きとする。原稿1篇の長さは, 本文, 英文アブストラクト及び要約を含めて27枚以内とする(図表は相当する文字数に換算してこれに含む)。
- 6.論文の要約を500字以内でまとめてつけること。
- 7.原著, 資料, ケース研究, 展望には, 英文標題と英文アブストラクトをつけること。ケース報告には英文標題のみつけること。英文アブストラクトは次の規定によること。
  - (1)熟達した人の英文であるか, その校閲を経ていること。
  - (2)200語以内におさめること。
  - (3)前項の要約とは別に, その日本語訳を添付すること。これは英文校閲の際の参考に供するものであるから, 直訳であること。

(4) 英文アブストラクトは、具体的には以下の要領による。

- ① 目的・方法・結果を含む。
- ② 本文と同じ大きさ（判）の用紙を用いる。
- ③ 審査を通過し、掲載が決定された論文のアブストラクトは、校閲を行い、修正されることがある。

(5) キーワード

その論文の分類・検索の利便のため、英語のキーワードを 5 項目から 8 項目選び、英文アブストラクトの末尾につける。選択の方法は、その論文を特徴づけられる概念を上位概念から順に選ぶ。これをコンピューターによる検索の場合を考え、次の基準で記す。

- ① キーワードは名詞または名詞句を使用する。  
複数形をとりうるものは複数形で示す。

(例) article — articles  
child — children  
theory — theories

- ② 略語は用いない。

(例) BT — behavior therapy  
PTSD — post traumatic stress disorders

- ③ 固有名詞（人名、地名、テキスト名、学会名など）もキーワードになりうる。なお、固有名詞等のように大文字を使う必要があるもの以外はすべて小文字で書く。

(例) Rogers(Carl R.)

Thematic Apperception Test

キーワードについては、*Psychological Abstracts* 誌の Subject Index を参考にすると良い。なお、掲載が決定した論文については編集委員会が適宜修正を加えることがある。

英文アブストラクトとキーワードの例示

**Uniqueness and General Factor  
Characteristics of the Woodcock-Johnson  
Tests of Cognitive Ability-Revised  
Kevin McGREW and Suzanne MURPHY  
(St. Cloud State University)**

When new or revised intelligence batteries are published, it is important to know the general factor loading and uniqueness information of the individual tests prior to using them for clinical interpretation. This study investigated the general factor and uniqueness characteristics of the individual tests of the Woodcock-Johnson Test of Cognitive Ability-Revised (WJTCA-R), a revised and expanded version of the 1977

Woodcock-Johnson Test of Cognitive Ability. The subjects were drawn from the nationally representative WJTCA-R standardization sample and were organized into 18 different age categories. Only 2 (Incomplete Words and Visual Closure) of the 19 WJTCA-R tests examined had low general factor loadings. The remaining 17 tests had medium or high general factor loadings. Only 2 (Cross Out and Listening Comprehension) of the 19 WJTCA-R tests had low uniqueness. All other tests had medium or high uniqueness. The implications for clinical interpretation are discussed.

**Keywords:** intelligence; specificity; uniqueness; general intelligence; Woodcock-Johnson.

8.外国人・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要な場合は初出の際だけ原語を付すこと。

9.数字は算用数字を使用すること。

10.引用文献は論文の最後に著者の姓のアルファベット順に一括し、同一著者の場合は発表年の古いものから順に並べる。脚注欄は論文内容の捕捉説明に当てること。

文献記載の形式は、雑誌の場合は著者名・発表年・標題・雑誌名・巻数・論文所在ページ、単行本の場合は、著者名・発行年・書名・出版地・発行所の順として、下記の例にしたがうこと。

なお、欧文の書名・雑誌名にアンダーラインを引き、雑誌巻数の下に波線を引くこと。

(1)日本語単行本の場合： 平木典子 1993 アサーション・トレーニング 金子書房（日本精神技術研究所発行）

(2)日本語の編集書・監修書の1章： 野島一彦 1992 文献研究の立場から見た構成的グループ・エンカウンター(國分康孝 編 構成的グループ・エンカウンター)誠信書房 23-34.

(3)日本語雑誌の場合： 神保信一・橋本幸晴 1995 登校拒否に関するカウンセリング心理学の課題と展望 カウンセリング研究, 28,104-113.

(4)外国語単行本の場合： Burns,D.D.1993 Ten days to self-esteem. New York:William Morrow.

(5)外国語の編集書の1章： Sarason,I.G.&Sarason,B.R.1990 Test anxiety. In Leitenberg,H.(Ed.), Handbook of social and evaluation anxiety. New York:Plenum Press.pp.475-495.

(6)外国雑誌の場合： Cassidy,J.&Asher,S.R.1992 Loneliness and peer relations in young children. Child Development,63,350-365.

(7)翻訳書の場合： de Shazer,S.1985 Keys to solution in brief therapy. New York: W.W.Norton&Company,Inc.(小野直弘 訳 1994 短期療法—解決の鍵 誠信書房)

(8)本文には著者名と発表(発行)年および必要な場合は引用ページを記載する。

(例)Wechsler et al.(1991)によれば、・・・

Lee&Hasse(1985,pp.181-187)は, . . .

11. 図の原稿と写真は明確なものを提出すること。
12. 表・図は本文に比して大きな誌面を要するから、その大きさを本文に換算して全頁数のなかに算入すること。
13. 表や図の番号は、Table 1(表の上に)、Fig.1(図の下に)のように記入のこと。
14. 印刷の体裁は編集委員会に一任すること。
15. 英文論文について、次の条項のほかは、編集規定・執筆要領を準用する。
  - (1) 本文の長さは 4000 語以内とすること。
  - (2) 必ず達意の英文であること。
  - (3) 英文アブストラクト(200 語以内)とその日本語訳を必ずつけること。
16. 本誌は人間を対象とした研究誌である。したがって、研究対象者の人権を保護した点について明記する（倫理的、法的な観点も、審査の条件となる）。
17. 投稿論文の審査結果受理後、半年間返答がなかった場合は、自動的に不採択とする。
18. 投稿論文の著作権は、日本カウンセリング学会に帰属する。